

EPSON

Easy Interactive Tools操作ガイド

マニュアル中の表示の意味	4	アノテーションモードで描画する	21
マニュアルの使い方と情報の探し方	6	図形や画像を調整、編集する	21
キーワードで検索する	6	ツールバーのサブメニュー	22
しおりから直接ジャンプする	6	画面の一部を拡大表示する	23
必要なページだけ印刷する	6	シェードで画面の一部を隠す	23
Easy Interactive Toolsについて	7	スポットライトで画面の一部を表示する	24
Easy Interactive Toolsの特長	8	2画面に描画する	24
無地の背景に描画する (ホワイトボードモード)	8	投写画面でコンピューターを操作する (マウス操作)	25
投写映像に描画する (アノテーションモード)	8	画面を保存する	26
便利なインタラクティブ機能	8	サポートするファイルの種類	26
古いホワイトボード描画データを変換する (Epson EWF Converter)	9	書画カメラの映像に描画する	28
はじめてソフトウェアを使うときの準備	10	スライドショー描画ツールを使用する	29
Easy Interactive Toolsシステム動作条件	11	PowerPointのスライドショー描画ツール	29
ソフトウェアをインストールする	12	Easy Interactive Toolsを終了する	31
Easy Interactive Toolsをインストールする (Windows)	12	.ewfファイルを.ewf2形式に変換する	32
Easy Interactive Toolsをインストールする (Mac)	12	各画面の説明	33
Easy Interactive Toolsを使用する	13	ツールバーの機能	34
ソフトウェアを使うための準備	14	ツールパネルの機能	35
Easy Interactive Toolsを起動する	15	カメラ画面	37
電子ペン (Easy Interactive Pen) で操作する	16	設定画面	38
指で操作する (タッチ操作)	17	一般タブ	38
描画モードと選べる描画画面	18	画面拡張タブ	40
ホワイトボードモードで描画する	20	言語タブ (Windowsのみ)	41
全体表示とウィンドウ表示を切り替える	21	保存タブ	42
		カメラタブ	44
		ホワイトボードモードタブ	45
		ホワイトボードツールの機能	47

困ったときに **48**

Easy Interactive Toolsに関するトラブル 49

付録 **51**

ソフトウェアを更新、またはアンインストールする 52

ソフトウェアの最新バージョンを入手する 52

Easy Interactive Toolsをアンインストールする (Windows 10/Windows 11) ... 52

Easy Interactive Toolsをアンインストールする (Mac) 52

一般のご注意 **53**

ご注意 53

表記について 53

商標について 53

Open Source Software License 54



著作権について 54

マニュアル中の表示の意味






安全に関する表示

プロジェクターおよびマニュアルには、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	注意して取り扱わないと、本製品の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。 例： [映像調整] メニューを選択する  [画質] > [アドバンスト]
	関連事項を記載しているページを示しています。
	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

▶▶ 関連項目

- 「マニュアルの使い方と情報の探し方」 [p.6](#)

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピュータのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

▶ 関連項目

- 「キーワードで検索する」 p.6
- 「しおりから直接ジャンプする」 p.6
- 「必要なページだけ印刷する」 p.6

キーワードで検索する

[編集] メニューの [高度な検索] をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、[検索] をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。

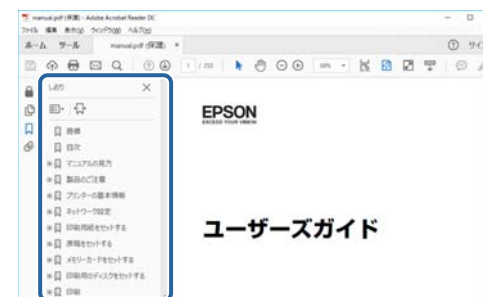


しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。+または>をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- Windows : [Alt] キーを押したまま←キーを押します。

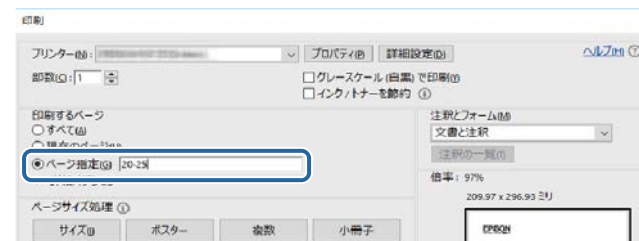
- Mac OS : commandキーを押したまま←キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル] メニューの [印刷] をクリックして、[印刷するページ] の [ページ指定] で印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例：5,10,15



Easy Interactive Toolsについて

Easy Interactive Toolsの特長を説明します。

▶▶ 関連項目

- 「Easy Interactive Toolsの特長」 [p.8](#)

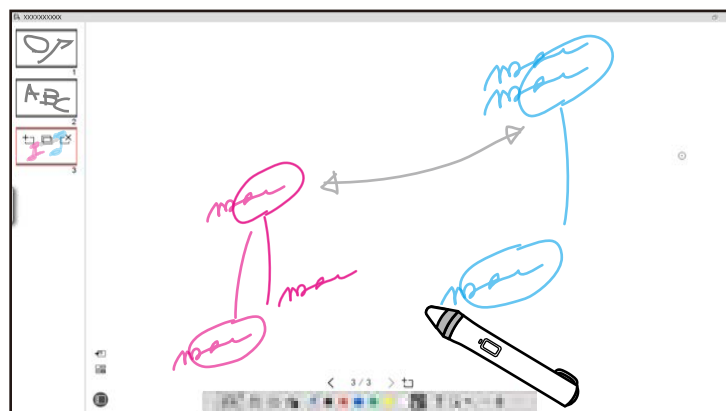
Easy Interactive Toolsは、プロジェクターから投写している画面上で描画ができるアプリケーションソフトです。投写画面を指で触れる操作（指での入力に対応したプロジェクターのみ）やプロジェクターに同梱の電子ペン（Easy Interactive Pen）の操作、コンピューターのマウス操作により、描画などのインタラクティブ機能を使用できます。

▶▶ 関連項目

- 「無地の背景に描画する（ホワイトボードモード）」 p.8
- 「投写映像に描画する（アノテーションモード）」 p.8
- 「便利なインタラクティブ機能」 p.8
- 「古いホワイトボード描画データを変換する（Epson EWF Converter）」 p.9

無地の背景に描画する（ホワイトボードモード）

無地の画面を投写して、自由に文字や絵を書き込めます。方眼紙や五線譜などの背景も選択できます。会議の記録や資料作成などに便利です。

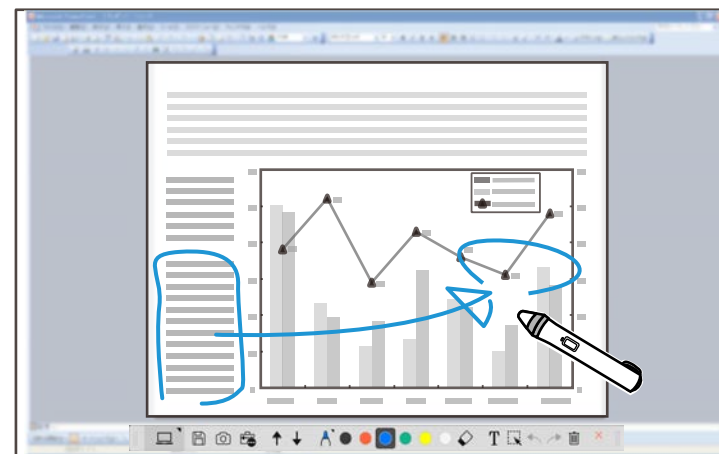


▶▶ 関連項目

- 「ツールパネルの機能」 p.35
- 「ホワイトボードモードで描画する」 p.20
- 「図形や画像を調整、編集する」 p.21

投写映像に描画する（アノテーションモード）

投写した資料に説明のポイントや注意事項を書き込めます。イラストや画像、図形などを使用して、効果的な授業や訴求力のあるプレゼンテーションを実現できます。



▶▶ 関連項目

- 「アノテーションモードで描画する」 p.21

便利なインタラクティブ機能

Easy Interactive Toolsを使うと、以下のことができます。

- コンピューターのマウス操作をする
- コンピューターに接続したエプソン製書画カメラを操作する
- 投写画面に描画した内容を編集する
- 描画した内容を保存する
- 遠隔会議に活用する

Epson iProjectionを使って、コンピューターとプロジェクターをネットワーク接続すると、投写画面を遠隔地と共有できます。

Easy Interactive Toolsと同時に使用すると、複数拠点で同じ投写画面に書き込みができます。

Epson iProjectionの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。

▶ 関連項目

- 「ツールパネルの機能」 [p.35](#)
- 「投写画面でコンピューターを操作する（マウス操作）」 [p.25](#)
- 「書画カメラの映像に描画する」 [p.28](#)
- 「図形や画像を調整、編集する」 [p.21](#)

古いホワイトボード描画データを変換する（Epson EWF Converter）

お使いのコンピューターにEasy Interactive Toolsをインストールすると、同時にEpson EWF Converterもインストールされます。Epson EWF Converterを使用すると、Easy Interactive Toolsを起動することなく.ewf形式のファイルを.ewf2形式のファイルに変換できます。この機能を使うと、古いプロジェクターで作成したホワイトボード描画データを新しいプロジェクターで読み込むことができます。

▶ 関連項目

- 「.ewfファイルを.ewf2形式に変換する」 [p.32](#)

はじめてソフトウェアを使うときの準備

ソフトウェアを実行するために必要なシステム動作条件を確認してから、ソフトウェアをインストールしてください。

▶ 関連項目

- 「Easy Interactive Toolsシステム動作条件」 [p.11](#)
- 「ソフトウェアをインストールする」 [p.12](#)

Easy Interactive Toolsは、次の条件を満たすコンピューターで動作します。

条件	Windows	Mac
OS	Windows 10 <ul style="list-style-type: none"> • Windows 10 Home (32/64ビット) • Windows 10 Pro (32/64ビット) • Windows 10 Enterprise (32/64ビット) • Windows 10 Education (32/64ビット) Windows 11 <ul style="list-style-type: none"> • Windows 11 Home (64ビット) • Windows 11 Pro (64ビット) • Windows 11 Enterprise (64ビット) • Windows 11 Education (64ビット) 	macOS <ul style="list-style-type: none"> • macOS 13 (Ventura) • macOS 14 (Sonoma) • macOS 15 (Sequoia) • macOS 26 (Tahoe)
CPU	Intel Core2 Duo 1.2 GHz以上 (推奨：Intel Core i3以上)	<ul style="list-style-type: none"> • Intel Core2 Duo 1.2 GHz以上 (推奨：Intel Core i5 以上) • Apple M1以降 (Apple Silicon)
メモリー容量	4 GB以上 (推奨：8 GB以上)	
ハードディスク 空き容量	10 GB以上 (推奨：20 GB以上)	
ディスプレイ	1024 × 768 (XGA) 以上、1920 × 1200 (WUXGA) 以下の解像度 16ビットカラー以上	

Easy Interactive Toolsは、エプソンのホームページからダウンロードしてインストールします。



インストール時に選択した言語が、使用しているオペレーティングシステムの言語と異なるときは、画面が正しく表示されないことがあります。

▶ 関連項目

- 「Easy Interactive Toolsをインストールする (Windows)」 [p.12](#)
- 「Easy Interactive Toolsをインストールする (Mac)」 [p.12](#)

Easy Interactive Toolsをインストールする (Windows)

Easy Interactive Toolsをお使いのコンピューターにインストールします。



ソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。

- 1** コンピューターの電源を入れます。
- 2** 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
- 3** エプソンのホームページからソフトウェアをダウンロードします。
- 4** 画面の指示に従って、インストールを進めます。
- 5** 使用許諾契約が表示されたときは、内容に合意し、[次へ] を選択します。
- 6** [インストール] を選択します。

Easy Interactive Toolsをインストールする (Mac)

Easy Interactive Toolsをお使いのコンピューターにインストールします。

- 1** コンピューターの電源を入れます。
- 2** 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
- 3** エプソンのホームページからソフトウェアをダウンロードします。
- 4** 画面の指示に従って、インストールを進めます。
- 5** 使用許諾契約が表示されたときは、内容を確認し、[続ける] を選択して、[同意する] を選択します。
- 6** [インストール] を選択します。



Macをお使いの場合は、Easy Interactive Driverをインストールします。お使いのプロジェクターにあわせて、エプソンのホームページからEasy Interactive Driverをダウンロードします。

Easy Interactive Toolsを使用する

Easy Interactive Toolsの基本的な使い方について説明します。

▶ 関連項目

- 「ソフトウェアを使うための準備」 [p.14](#)
- 「Easy Interactive Toolsを起動する」 [p.15](#)
- 「電子ペン（Easy Interactive Pen）で操作する」 [p.16](#)
- 「指で操作する（タッチ操作）」 [p.17](#)
- 「描画モードと選べる描画面」 [p.18](#)
- 「画面を保存する」 [p.26](#)
- 「書画カメラの映像に描画する」 [p.28](#)
- 「スライドショー描画ツールを使用する」 [p.29](#)
- 「Easy Interactive Toolsを終了する」 [p.31](#)
- 「.ewfファイルを.ewf2形式に変換する」 [p.32](#)

ソフトウェアを使用するために次の準備をしてください。



- お使いのプロジェクターにより、描画機能を使うためにUSBケーブルの接続が必要です。詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
- Macをお使いのときは、他のアプリケーションへのアクセス許可を求めるメッセージが表示されることがあります。[OK] を選択してください。

USBケーブルでプロジェクターと接続する場合

- USBケーブルをコンピューターのUSB端子とプロジェクターのUSB-B端子に接続します。
- プロジェクターのメニューで、電子ペンや指タッチ機能の設定をします。詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。


ネットワーク経由でプロジェクターと接続する場合

- コンピューターをネットワークに接続します。
- 必要に応じて、プロジェクターに無線LANユニットまたはLANケーブルを接続します。
- プロジェクターのメニューで、ネットワーク設定をします。
- Epson iProjectionをコンピューターにインストールします。
- Epson iProjectionで [オプション設定] 画面を開き、[一般設定] タブの [Easy Interactive Toolsを使用する] を選択します。

以下の方法で、Easy Interactive Toolsを起動します。

1 プロジェクターの電源を入れて、コンピューターの映像を投写します。

2 コンピューターで Easy Interactive Toolsを起動します。

- [Windows 10/11] :  > [Easy Interactive Tools Ver.X.XX] の順に選択します。
- [Mac] : アプリケーションフォルダーから [Easy Interactive Tools Ver.X.XX] をダブルクリックします。

Easy Interactive Toolsが起動します。



アプリの初回起動時は起動モードを選択する画面が表示されます。アノテーションモードまたはホワイトボードモードを選択できます。



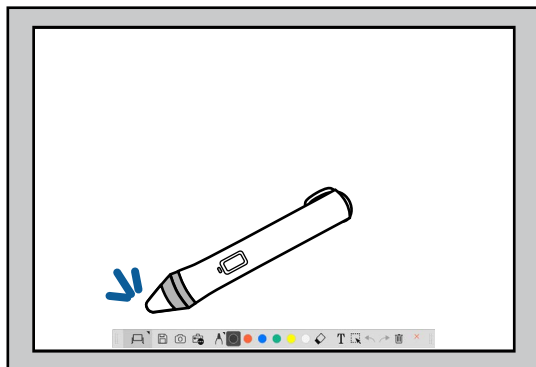
- 動画再生中にEasy Interactive Toolsを起動すると、動画再生画面が黒くなることがあります。動画を再生しているアプリケーションソフトを再起動してください。
- プロジェクターのインタラクティブ機能を使って描画した内容があるときは、その内容を保存し、画面をクリアしてから、Easy Interactive Toolsによる描画を開始してください。
- 起動モードは [設定] 画面の [一般] タブで変更できます。

▶ 関連項目

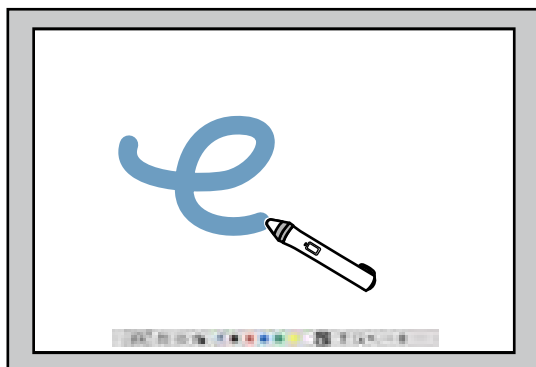
- 「一般タブ」 [p.38](#)

プロジェクターに同梱の電子ペン（Easy Interactive Pen）を使用してEasy Interactive Toolsを操作できます。電子ペンの機能や形状は電子ペンを同梱している機種によって異なります。詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

- 1** 電子ペンに電池が入っていることを確認し、電源をオンにしてください。
- 2** ペン先ボタンをスクリーンに押し当てて、アイコンなどを選択します。



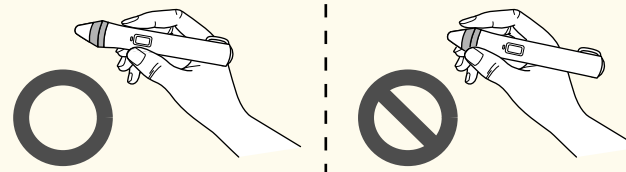
- 3** スクリーンに押し当てて動かすことで、投写画面に描画します。



- 電子ペンは2本同時に使用できます。（お使いのプロジェクターにより、1本しか使用できないことがあります。）ネットワーク経由で描画しているときや、ホワイトボードモードでウィンドウ表示をしているときは、1本しか使用できません。詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。
- Easy Interactive Toolsは、コンピューターに接続しているマウスなど、最大6つのデバイスで同時に操作できます。Macを使用しているときは、最大3つのデバイスで操作可能です。
- 以下の操作は1つのデバイスのみの操作に限られます。
 - 設定画面、カメラ画面、画像の挿入画面、背景選択画面、ファイルを開く画面、ファイルの保存画面、エクスポート画面、印刷画面の操作
 - 同一の図形や画像の調整、編集
 - テキスト入力
 - ホワイトボードモード時にウィンドウ表示しているときの操作

⚠ 注意

電子ペンのペン先部分を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。電子ペンが動作しないことがあります。



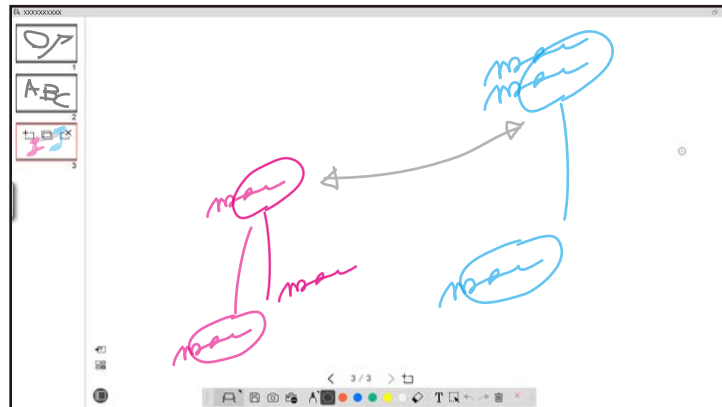
電子ペン（Easy Interactive Pen）を使用して可能な操作は、指を使っても同様に操作可能です（指での入力に対応したプロジェクターをお使いのときのみ）。

指で操作するときは、2本の指で拡大・縮小などの操作をするマルチタッチ操作が可能です。マウス操作では、最大6点までのマルチタッチを認識します。指で複数人同時に操作するときは、全員が同じ描画ツールでの操作となります。

Easy Interactive Toolsには2つの描画モードがあります。使用するモードを切り替えることで、以下のように画面が変わります。

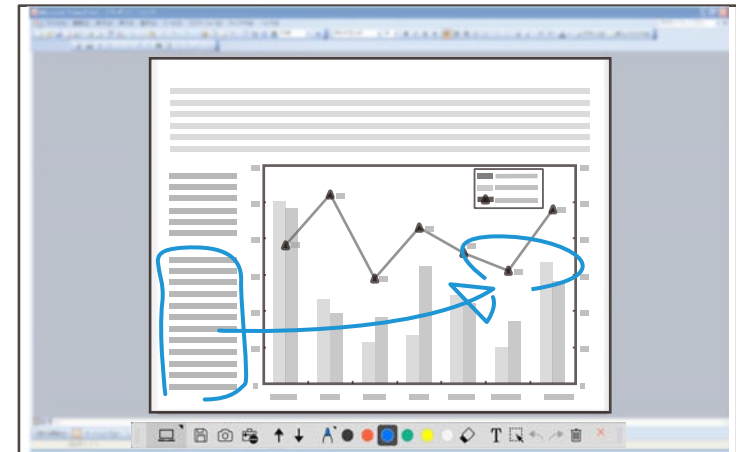
ホワイトボードモード

無地の画面を表示して描画できます。描画エリアをページとして扱うことができ、複数のページを作成して描画できます。また、描画内容をファイル(.eit/.iwb形式)として保存したり、過去に保存したファイルを開いたりできます。



アノテーションモード



コンピューターで表示している資料に描画できます。資料の重要なポイントを強調したり補足を書き込んだりするのに便利です。また、書画カメラからの映像に描画することもできます。



マウス操作

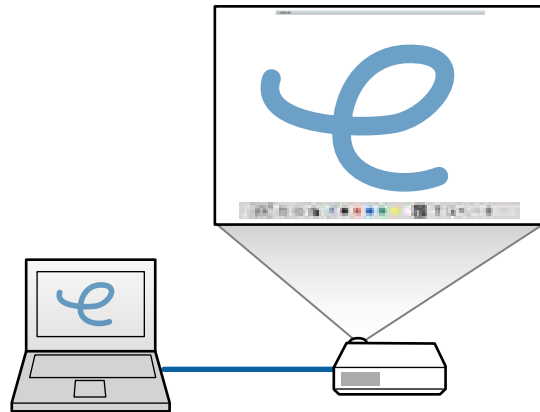
投写面上でコンピューターの操作ができます(マウス操作)。電子ペンをマウスと同じように使って、クリック、右クリック、ドラッグ&ドロップなどの操作ができます。



Easy Interactive Toolsでは、お使いの環境に合わせて描画する画面を選択できます。セカンダリディスプレイや2画面にまたがって描画するときには、ツールバーで  >  を選択し、[画面拡張] タブの設定をします。

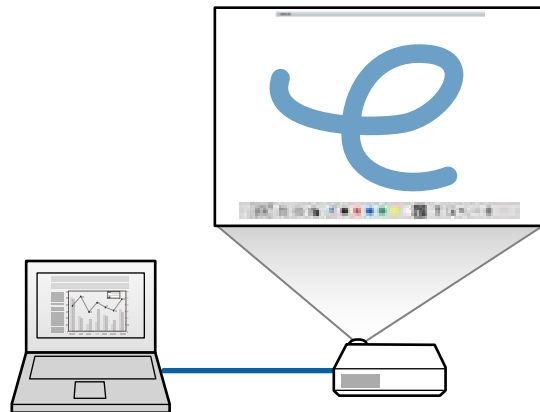
プライマリディスプレイ

コンピューターの画面を投写し、投写画面上で描画します。



セカンダリディスプレイ

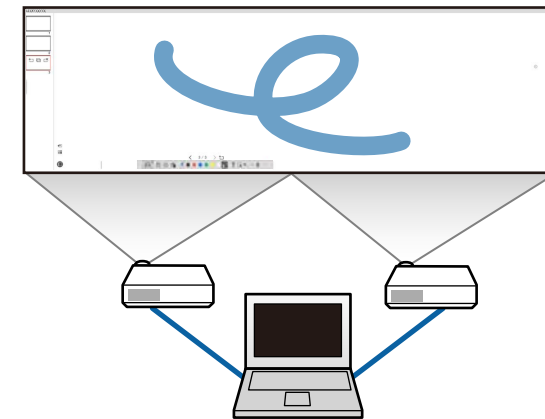
コンピューターで資料を表示しながらプロジェクターで別の資料を投写します。投写画面上で描画します。



事前にコンピューターのディスプレイ設定でセカンダリディスプレイを有効にします。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

2画面で使用する

複数のプロジェクターを接続し、2画面にまたがって描画します。







▶▶ 関連項目

- 「ホワイトボードモードで描画する」 [p.20](#)
- 「アノテーションモードで描画する」 [p.21](#)
- 「図形や画像を調整、編集する」 [p.21](#)
- 「画面の一部を拡大表示する」 [p.23](#)
- 「シェードで画面の一部を隠す」 [p.23](#)
- 「スポットライトで画面の一部を表示する」 [p.24](#)
- 「2画面に描画する」 [p.24](#)
- 「投写画面でコンピューターを操作する（マウス操作）」 [p.25](#)

ホワイトボードモードで描画する



ホワイトボードモードで無地のページに描画できます。ホワイトボードモード時は、ページを追加したり、ページ一覧画面を表示してページ操作をしたりできます。


- 1** ツールバーに  が表示されていることを確認します。  または  が表示されているときは、表示されているアイコンをクリックし、  を選択します。

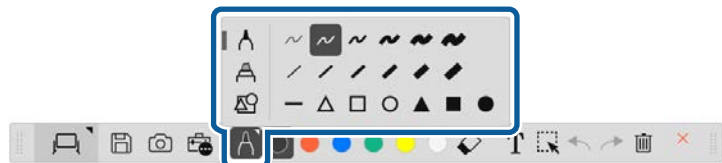


ホワイトボードモードに移行し、新規ページを表示します。



過去に保存したファイルを開くときは、ツールバーで  >  の順に選択します。

- 2**  を選択し、ペンの種類や線幅、図形を選択します。





- 3** ペンや使用中の図形の色をツールバーで選択します。









- 4** ページに描画します。

- 5** 描画を削除するには、以下のいずれかのツールをツールバーから選択します。

-  を選択した場合：電子ペンや指タッチ操作（対応機種のみ）が消しゴムとして使えます。
-  を選択した場合：表示中のページの内容をすべて消します。





- 6**  を選択すると、ページ一覧が表示されます。ページの追加、削除、複製、順序の入れ替えができます。

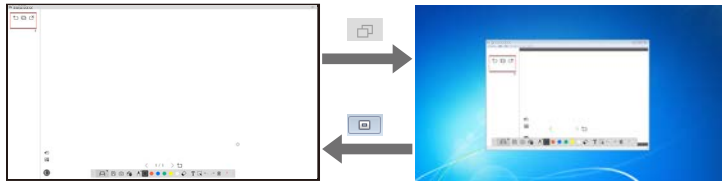
-  を選択した場合：新規ページを追加します。
-  を選択した場合：表示中のページを複製します。
-  を選択した場合：表示中のページを削除します。
- サムネイル画像を選択した場合：表示するページを切り替えます。
- サムネイル画像をドラッグ&ドロップした場合：ページの順序を入れ替えます。
-  を選択した場合：画像を挿入します。
-  を選択した場合：背景画像を挿入します。

▶▶ 関連項目

- 「全体表示とウィンドウ表示を切り替える」 p.21
- 「画面を保存する」 p.26

全体表示とウィンドウ表示を切り替える

ホワイトボードモード時に  /  を選択すると、描画面面の全体表示とウィンドウ表示を切り替えます。

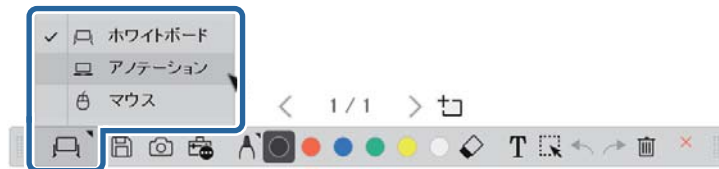


ウィンドウ表示中は、使用できる指タッチ操作（対応機種のみ）または電子ペンが1本になり、ウィンドウ外の操作はコンピューターのマウス操作になります。


アノテーションモードで描画する

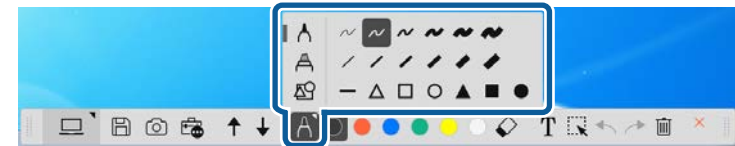
アノテーションモードでコンピューターの画面または書画カメラで撮影している映像に描画できます。

1 ツールバーで  >  の順に選択します。



アノテーションモードに移行し、コンピューターの画面を表示します。

2  を選択し、ペンの種類や太さ、図形を選択します。





3 ペンや使用中の図形の色をツールバーで選択します。



4 投写面に描画します。

5 描画を削除するには、以下のいずれかのツールをツールバーから選択します。

-  を選択した場合：電子ペンや指タッチ操作（対応機種のみ）が消しゴムとして使えます。
-  を選択した場合：表示中のページの内容をすべて消します。



▶ 関連項目


- 「カメラ画面」 p.37
- 「画面を保存する」 p.26

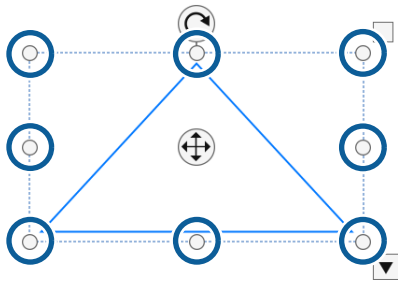
図形や画像を調整、編集する

描画した図や線、挿入した画像を調整、編集できます。




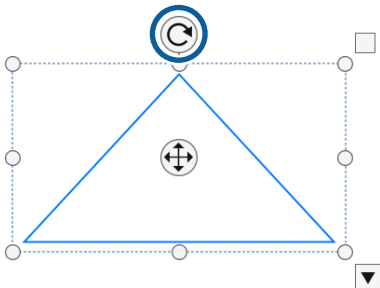
線で描いた図形を選択するときは、実線の上を選択してください。

- 拡大、縮小するときは、を選択し、オブジェクトを選択して拡大・縮小ハンドルをドラッグします。





指タッチ操作（対応機種のみ）を使って拡大・縮小するときは、オブジェクトを選択して、オブジェクト上の2点を指でタッチします。拡大するときは、タッチしている2点が離れるように指を動かします。縮小するときは、タッチしている2点が近づくように指を動かします。

- 回転するときは、を選択し、オブジェクトを選択して、回転ハンドルを操作します。



指タッチ操作（対応機種のみ）を使って回転するときは、オブジェクト上の2点を指でタッチして、回転したい方向に動かします。

- を選択し、オブジェクトを選択してを選択すると、サブメニューが表示され、様々な操作ができます。

▶ 関連項目

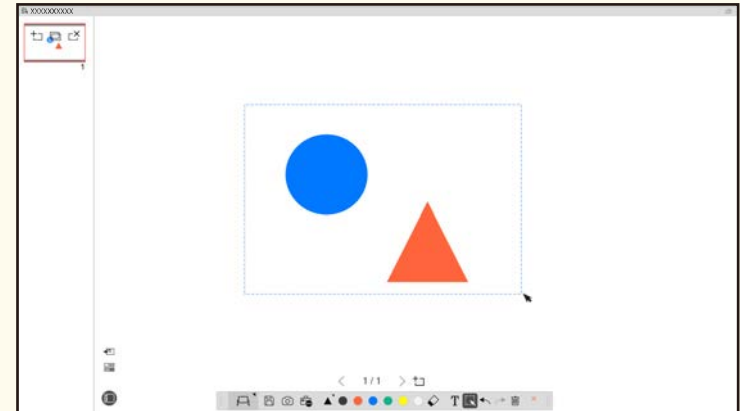
- 「ツールバーのサブメニュー」 [p.22](#)

ツールバーのサブメニュー

ツールバーのサブメニューからさまざまな操作ができます。



複数のオブジェクトをドラッグで選択すると、選択したオブジェクトを同時に操作できます。






サブメニュー	説明
線幅	選択したオブジェクトの線幅を選択します。

サブメニュー	説明
複製	選択したオブジェクトと同じオブジェクトを作成し、複製元の右下に貼り付けます。
連続複製	選択したオブジェクトをドラッグ&ドロップで複製できる状態（連続複製状態）にします。オブジェクト枠の右上にある□を選択することもできます。連続複製状態のとき、アイコンが☑に変わります。
連続複製解除	連続複製を解除します。オブジェクト枠の右上にある☑を選択することもできます。連続複製を解除すると、アイコンが□に変わります。
コピー	選択したオブジェクトをクリップボードにコピーします。複数のオブジェクトを同時にコピーできます。（キーボードショートカットCtrl+CはEasy Interactive Toolsでは使用できません。）
貼り付け	コピーしたオブジェクトを貼りつけます。（キーボードショートカットCtrl+VはEasy Interactive Toolsでは使用できません。）
編集	選択したテキストを編集します。
グループ化	選択した複数のオブジェクトを1つのオブジェクトにグループ化します。
グループ解除	選択したオブジェクトがグループ化されている場合、グループ化を解除します。
最前面へ移動	選択したオブジェクトの重なり順を変更します。
最背面へ移動	
前面へ移動	
背面へ移動	

サブメニュー	説明
削除	選択したオブジェクトを削除します。




画面の一部を拡大表示する

画面の一部を選択し、拡大表示できます。

- 1 ツールバーで  >  の順に選択します。
画面に十字カーソルが表示されます。
- 2 拡大表示したい領域をドラッグします。
[領域拡大] 画面が表示されます。
- 3 [領域拡大] 画面を閉じるには、画面右上の  を選択します。




シェードで画面の一部を隠す

黒画面を表示することで映像の一部または全体を隠すことができます。

- 1 ツールバーで  >  の順に選択します。
投写面にシェードが表示されます。
- 2 シェードの端をドラッグして、大きさを調整します。
- 3 黒く表示された部分をドラッグして、位置を調整します。
- 4 シェード画面を閉じるには、画面右上の  を選択します。

スポットライトで画面の一部を表示する

投写面の一部のみを表示し、他の部分を隠すことができます。

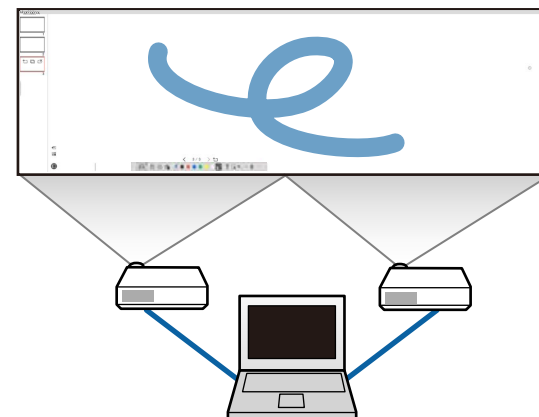
- 1** ツールバーで  >  の順に選択します。
スポットライト画面が表示されます。
- 2** スポットライトの端をドラッグして、大きさを調整します。
- 3** 黒く表示された部分をドラッグして、位置を調整します。
- 4** スポットライト画面を閉じるには、画面右上の  を選択します。

2画面に描画する

お使いのコンピューターに複数のプロジェクターを接続すると、2画面にまたがって描画できます。



2画面に描画するには、Easy Interactive Driver Ver.4.0のインストールが必要です。プロジェクターの設定方法や設定項目はお使いの機種によって異なります。詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。





2画面での投写をするときは、以下を設定します。

- コンピューターケーブルやHDMIケーブルなどの映像ケーブルを使ってコンピューターとプロジェクターを接続します。
- USBケーブルをコンピューターのUSB端子とプロジェクターのUSB-B端子に接続します。
- 2画面でインタラクティブ機能が使えるようにプロジェクタの設定をします。詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。



お使いのコンピューターで以下を確認します。

- プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの解像度が同一である
- プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイを同一の高さに配置している
- プライマリディスプレイの右側にセカンダリディスプレイを配置している

- [システム環境設定] > [Mission Control] > [ディスプレイごとに個別の操作スペース] が [オフ] になっている (Macのみ)




- 1** Easy Interactive Toolsのツールバーで  >  の順に選択します。
[設定] 画面が表示されます。
- 2** [画面拡張] タブの [使用画面設定] で [2画面で使用する] を選択します。

投写画面でコンピューターを操作する (マウス操作)

ツールバーで  >  の順に選択すると、投写画面でコンピューターのマウス操作ができます。電子ペンをマウスと同じように使って、クリック、右クリック、ドラッグ&ドロップなどの操作ができます。

- クリック：ペン先ボタンをスクリーンに押し当てます。
- 右クリック：電子ペンのボタンを押すか、ペン先をスクリーンに長く押し当てます。
- ドラッグ&ドロップ：動かしたいアイコンやオブジェクトにペン先ボタンを押し当て、スクリーンに押し当てたまま動かします。

コンピューターの画面や描画内容をファイルに保存できます。

1 ツールバーでを選択します。がツールバーに表示されていないときは、を選択します。

2 保存先、ファイル名、ファイルの種類を選択します。
.jpg、.bmp、.png、.pdf、.eit、.iwb形式ですべてのページの描画を保存できます。保存したファイルを再度編集するときは、.eitまたは.iwb形式で保存してください。



- .jpg、.bmp、.png形式では、1ページを1ファイルにして保存します。.pdf、.eit、.iwb形式では、すべてのページを1ファイルにして保存します。
- [設定] 画面の [保存] タブから、保存先、ファイル名、ファイルの種類を設定できます。

▶ 関連項目

- 「サポートするファイルの種類」 [p.26](#)

サポートするファイルの種類

Easy Interactive Toolsでは以下のファイル形式が使用できます。

.eit

Easy Interactive Tools専用のファイル形式です。

.iwb

インタラクティブホワイトボードで使用されているファイル形式です。

.ewf/.ewf2

エプソン製プロジェクターのインタラクティブホワイトボードで使用されているファイル形式です。

.avi (Windows) /.mov (Mac)

動画のファイル形式です。

.pdf

文書のファイル形式です。

.jpg/.bmp/.png

画像のファイル形式です。

ソフトウェアで読み込み、書き出しができるファイルの種類は以下の通りです。

ファイルの種類	読み込み	書き出し
.eit	対応	対応
.iwb	対応	対応
.ewf	対応	非対応
.ewf2	対応	対応
.avi	対応	非対応
.mov	対応	非対応
.pdf	非対応	対応
.jpg/.bmp/.png	非対応	対応







- .ewf/ewf2形式のファイルをEasy Interactive Toolsで開くと、色や線が異なることがあります。
- .iwb形式で使用されている多角形、GIFアニメーション、動画や音声などの埋め込みメディアはEasy Interactive Toolsでサポートしていません。以下の制限事項があります。
 - 多角形は画像オブジェクトに変換されます。
 - GIFアニメーションは先頭の画像のみ表示され、アニメーションは表示されません。
 - .wmf、.emf、.mpeg、.swf、.wav、.mp3ファイルは非対応オブジェクトとして表示されます。
 - 色や線は異なって表示されることがあります。
 - 点線や破線は実線に変換されます。
 - .iwb形式のファイルを開き、Easy Interactive Toolsで描画内容を.eit形式に保存すると、非対応オブジェクトは削除されます。非対応オブジェクトを残したいときは、.iwb形式で保存してください。
- .eit、.iwb、.ewf、.ewf2形式のファイルを異なる解像度のコンピューターで開くと、一部の描画が表示されなかったり、黒帯が表示されたりすることがあります。
- 描画の.ewf2形式での保存には、以下の制限事項があります。
 - 背景は白く表示されます。
 - 音楽、動画、テキストデータは変換されません。
 - ファイルサイズによっては、描画の一部が表示されないことがあります。

書画カメラからの映像に描画できます。



書画カメラを使うときは、HDMIケーブルまたはコンピューターケーブルを使ってコンピューターとプロジェクターを接続します。

- 1** ツールバーで  >  の順に選択します。
- 2** リストから書画カメラを選択します。
[カメラ] 画面に書画カメラで撮影された映像が表示されます。
- 3** 書画カメラからの映像に描画します。
- 4** ツールバーで  を選択すると、現在の書画カメラの映像をホワイトボードモードのページに貼り付けられます。
- 5** ツールバーで  を選択すると、表示中の映像を静止画として保存します。

▶ 関連項目

- 「カメラ画面」 [p.37](#)

PowerPointのスライドショーを開始すると、ツールバーがPowerPointのスライドショー描画ツールに切り替わります。

以下のPowerPointのバージョンに対応しています。

- Windows：Microsoft PowerPoint 2010/2013/2016/Office 365
- Mac：Microsoft PowerPoint 2016/Office 365



スライドショー描画ツールを使用するかどうかは、「設定」画面の「一般」タブで設定できます。

- 1 Easy Interactive Toolsを起動し、PowerPointのスライドショーを開始します。

ツールバーがスライドショー描画ツールに切り替わります。



- 2 ツールを使って、PowerPointのスライドショーに描画します。

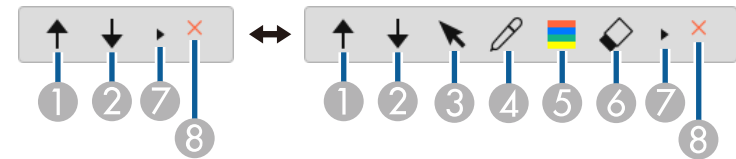
- 3 Windowsをお使いの場合は、描画した内容をPowerPointスライドとしてそのまま保存することができます。(Macをお使いの場合は、描画のみ可能です。)

▶ 関連項目


- 「PowerPointのスライドショー描画ツール」 p.29
- 「一般タブ」 p.38

PowerPointのスライドショー描画ツール




PowerPointのスライドショー描画ツールを使って、以下の操作ができます。



①	[前へ] スライドショーの前のページに戻ります。
②	[次へ] スライドショーの次のページに進みます。
③	[矢印] ペンをカーソルに切り替えます。
④	[ペン] カーソルをペンに切り替えます。
⑤	[色] ペンの色を選択します。
⑥	[消しゴム] (Windows) / [画面クリア] (Mac) 消しゴムに切り替えます。または、表示中のページの描画をすべて削除します。
⑦	[フル] スライドショー描画ツールの表示を [シンプル] か [フル] に切り替えます。


⑧  [スライドショーの終了]
スライドショーを終了します。

以下のいずれかの方法で、Easy Interactive Toolsを終了します。

- ツールバーのをクリックします。
- Windows：タスクトレイのをクリックして、ポップアップメニューから [終了] をクリックします。
- Mac：Dockのを長押しして、ポップアップメニューから [終了] をクリックします。

Epson EWF Converterを使用すると、Easy Interactive Toolsを起動することなく.ewf形式のファイルを.ewf2形式のファイルに変換できます。この機能を使うと、古いプロジェクターで作成したホワイトボード描画データを新しいプロジェクターで読み込むことができます。

1 コンピューターで Epson EWF Converter を起動します。

- [Windows 10/11] の場合： > [Epson EWF Converter] の順にクリックします。
- [Mac]：アプリケーションフォルダーから [Epson EWF Converter] をダブルクリックします。
Epson EWF Converterが起動します。

2 画面の指示に従って.ewfファイルを選択し変換を行ってください。



.ewfファイルを.ewf2形式に変換すると、背景は白く表示されます。

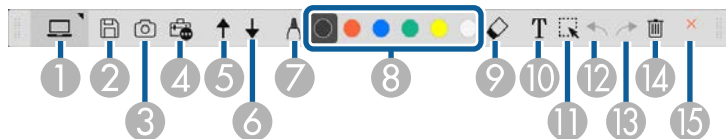
各画面の説明

Easy Interactive Toolsの各画面の項目を説明します。

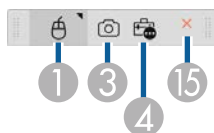
▶▶ 関連項目

- 「ツールバーの機能」 [p.34](#)
- 「ホワイトボードツールの機能」 [p.47](#)

ツールバーを使って、以下の操作ができます。
ホワイトボードモード/アノテーションモード







マウスモード



- ツールバーの表示は、モード、ウィンドウサイズによって変化します。
- 描画エリアの任意の場所を右クリックして、ミニツールボックスを使用することもできます。ミニツールボックスでは、ペンや消しゴムの種類を選択できます。

①	[ホワイトボード] / [アノテーション] / [マウス] モードを選択します。
②	[保存] 表示中の画面を保存します。保存したファイルはホワイトボードモードで開くことができます。 .pdf、.eit、.iwb形式では、すべてのページを1ファイルにして保存します。 がツールバーに表示されていないときは、 を選択します。


③	[キャプチャー] 表示中の画面をホワイトボードの新規ページに貼りつけます。 ホワイトボードモードでウィンドウ表示をしているときは、ウィンドウ枠の外に描かれた描画内容はコピーされません。
④	[その他のツール] ツールパネルを表示します。
⑤	[ページアップ] (アノテーションモードのみ) 選択中の文書で前のページに移動します。
⑥	[ページダウン] (アノテーションモードのみ) 選択中の文書で次のページに移動します。
⑦	[ペン設定] ペンの種類や線幅、図形を選択します。
⑧	[黒] / [赤] / [青] / [緑] / [黄] / [白] (蛍光ペンの場合、[黄] / [緑] / [水色] / [ピンク] / [赤] / [青]) 描画の色を選択します。
⑨	[消しゴム] 消しゴムに切り替えます。消しゴムの大きさを選択します。
⑩	[テキスト入力] テキスト入力モードに切り替えます。描画エリアの任意の場所を選択し、テキストボックスを表示します。
⑪	[選択] 描画内容や挿入した画像を選択し、オブジェクトの移動や大きさの変更などの操作をします。

12	 [元に戻す] 1つ前の操作を元に戻します。
13	 [やり直し] 元に戻した操作を取り消します。
14	 [画面クリア] 表示中のページの描画内容をすべて削除します。
15	 [終了] Easy Interactive Toolsを終了します。

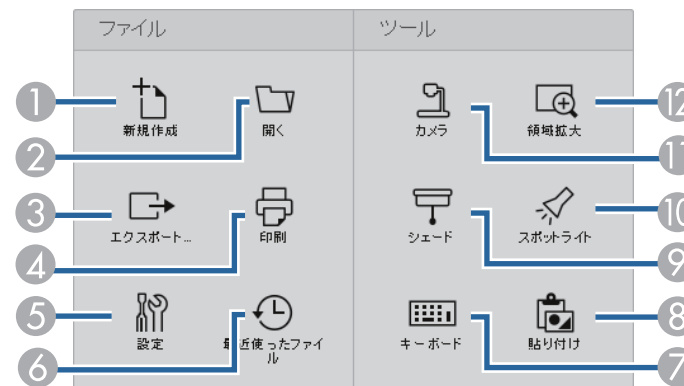
▶ 関連項目

- 「ツールパネルの機能」 p.35
- 「カメラ画面」 p.37
- 「設定画面」 p.38

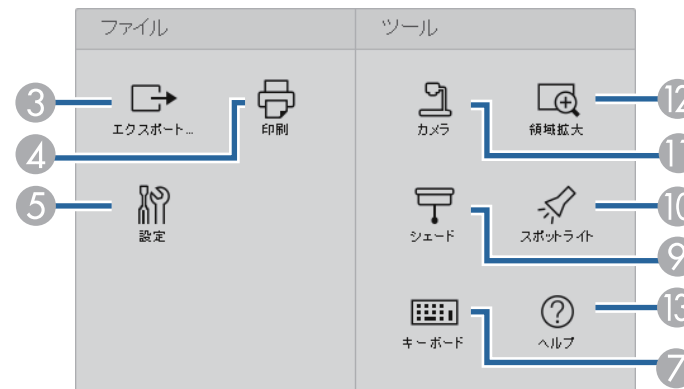
ツールパネルの機能

ツールバーで  を選択すると、ツールパネルが表示されます。


ホワイトボードモード

















アノテーションモード/マウスモード



ツールパネルの表示は、モード、ウィンドウサイズによって変化します。

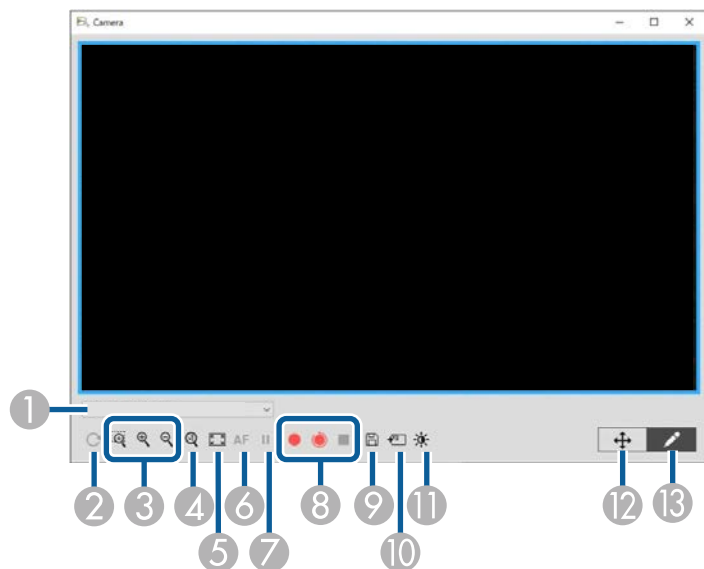
- | | |
|---|---|
| 1 |  [新規作成] (ホワイトボードモードのみ)
新しいファイルを作成します。 |
|---|---|

②	 [開く] (ホワイトボードモードのみ) 過去に保存したファイルを開きます。
③	 [エクスポート...] 描画内容を.pdf、.eit、.iwb形式で保存します。すべてのページを1ファイルにして保存します。保存したファイルはホワイトボードモードで開くことができます。
④	 [印刷] 表示中の画面を印刷します。ホワイトボードモードでは、すべてのページが印刷されます。印刷設定画面で印刷対象のページを選択することもできます。
⑤	 [設定] [設定] 画面を開きます。
⑥	 [最近使ったファイル] (ホワイトボードモードのみ) 最近使ったファイルのリストを表示します。
⑦	 [キーボード] 数字や文字の入力が可能なソフトキーボードを表示します。
⑧	 [貼り付け] (ホワイトボードモードのみ) クリップボードにコピーした内容を貼りつけます。
⑨	 [シェード] 表示中の画面をシェードで覆います。シェードの端をドラッグすると、シェード範囲を変更できます。  をクリックするとシェードが終了します。

⑩	 [スポットライト] スポットライトの効果を使って、投写画面の内容を強調します。スポットライトの枠をドラッグすると、表示範囲を変更できます。  をクリックするとスポットライトが終了します。 スポットライトの形状は [設定] 画面の [一般] タブで変更できます。
⑪	 [カメラ] コンピューターに接続されている書画カメラからの映像を表示します。
⑫	 [領域拡大] 映像の一部を拡大表示します。十字カーソルをドラッグして拡大する領域を選択します。
⑬	 [ヘルプ] (マウスモードのみ) ヘルプを表示します。

カメラ画面



ツールバーで > の順に選択すると、カメラ画面が表示されます。



カメラ画面では、コンピューターに接続されている書画カメラの映像を表示します。映像のサイズや明るさなどの調整を行い、画像ファイルまたは動画ファイルとして保存できます。

①	リストから書画カメラを選択します。
②	映像を180度回転します。



③	映像を拡大/縮小します。 <ul style="list-style-type: none"> : 十字カーソルをドラッグして選択した範囲の映像を拡大して、別ウィンドウで表示します。(別ウィンドウで表示している映像は、録画または保存できません。) : 映像を拡大します。 : 映像を縮小します。
④	拡大/縮小していない映像サイズに戻します。
⑤	カメラ画面を全画面表示かウィンドウ表示に切り替えます。
⑥	映像のピントを自動で合わせます。
⑦	映像を一時的に停止します。
⑧	書画カメラの映像と音声を録画/録音し、.avi形式 (Windows) または.mov形式 (Mac) で保存します。[設定] 画面の [カメラ] タブで保存先を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> : 書画カメラの映像 (描画を含まない) と音声を録画/録音します。録画中は、カメラ映像の右下に録画時間が表示されます。音声は録音されないときは、[設定] 画面の [カメラ] タブで音声を入力するオーディオデバイスを設定します。 : 書画カメラの映像 (描画を含まない) を1秒間隔で録画します。音声は録音されません。 : 録画を停止します。
⑨	表示中の映像を静止画として保存します。
⑩	現在の書画カメラの映像をホワイトボードモードの新規ページに貼り付けます。

- | | |
|---|---|
| ⑪ | <p>画質調整ウィンドウを表示します。(接続している書画カメラが明るさ調整/コントラスト調整/ホワイトバランス調整機能を搭載していないときは使用できません。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●  : 映像のコントラストを調整します。 ●  : 映像の明るさを調整します。 ● WB : 映像のホワイトバランス (色合い) を調整します。青みを強くしたいときはスライダーを右側へスライドします。赤みを強くしたいときはスライダーを左側へスライドします。([オートホワイトバランス]を選択すると、映像のホワイトバランスが自動で調整されます。) ● 初期化 : 明るさ/コントラスト/ホワイトバランスを初期値に戻します。 |
| ⑫ | 映像の位置をドラッグ&ドロップで移動します。 |
| ⑬ | 描画ツールバーを使って、映像に描画します。 |

▶▶ 関連項目

- 「カメラタブ」 p.44

設定画面

ツールバーで  >  の順に選択し、[設定] 画面を表示します。

[設定] 画面のタブを選択して、設定内容を切り替えます。

▶▶ 関連項目

- 「一般タブ」 p.38
- 「画面拡張タブ」 p.40
- 「言語タブ (Windowsのみ)」 p.41
- 「保存タブ」 p.42
- 「カメラタブ」 p.44
- 「ホワイトボードモードタブ」 p.45

一般タブ

[設定] 画面の [一般] タブを選択して、ソフトウェア全般の設定をします。



設定	説明
ツールバーのサイズ	ツールバーのサイズを選択します。
ツールバーの向き	ツールバーの向きを選択します。
スポットライトの形	スポットライトの形状を選択します。
スライドショー描画ツール	PowerPointスライドを投写時、スライドショー専用の描画ツールバーを使用するかを選択します。
右クリック設定	描画エリアで右クリックしたときの動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [クイックツールバーを開く]: ミニツールボックスを開きます。 • [マウスモードに切り替え]: アノテーションモードで、描画機能からマウス操作機能へ切り替えます。 • [ペンと消しゴムを切り替え]: 描画機能と消しゴム機能を交互に切り替えます。 • [画面クリア]: 描画した内容をすべて消去します。 • [オフ]: 右クリックしても何も起こりません。
画面自動クリア	画面クリアを設定します。[画面クリアする]を選択すると、アノテーションモードで描画操作からマウス操作に切り替えたとき、またはページアップ/ページダウンしたときに描画した内容をすべて消去します。
起動モード選択	アプリの起動直後に開くモードを設定します。 [初期値に戻す] ボタンを押すと、起動モードは [ホワイトボード] に設定されます。
利用状況調査	チェックを付けると、アプリの使用状況に関する情報をエプソンが取得できるようになります。詳細はプライバシーステートメントを参照してください。
バージョン情報	お使いのEasy Interactive Toolsのバージョン情報を表示します。

▶▶ 関連項目

- 「ツールバーの機能」 [p.34](#)
- 「スライドショー描画ツールを使用する」 [p.29](#)
- 「スポットライトで画面の一部を表示する」 [p.24](#)

画面拡張タブ

[設定] 画面の [画面拡張] タブで、描画する画面を選択します。

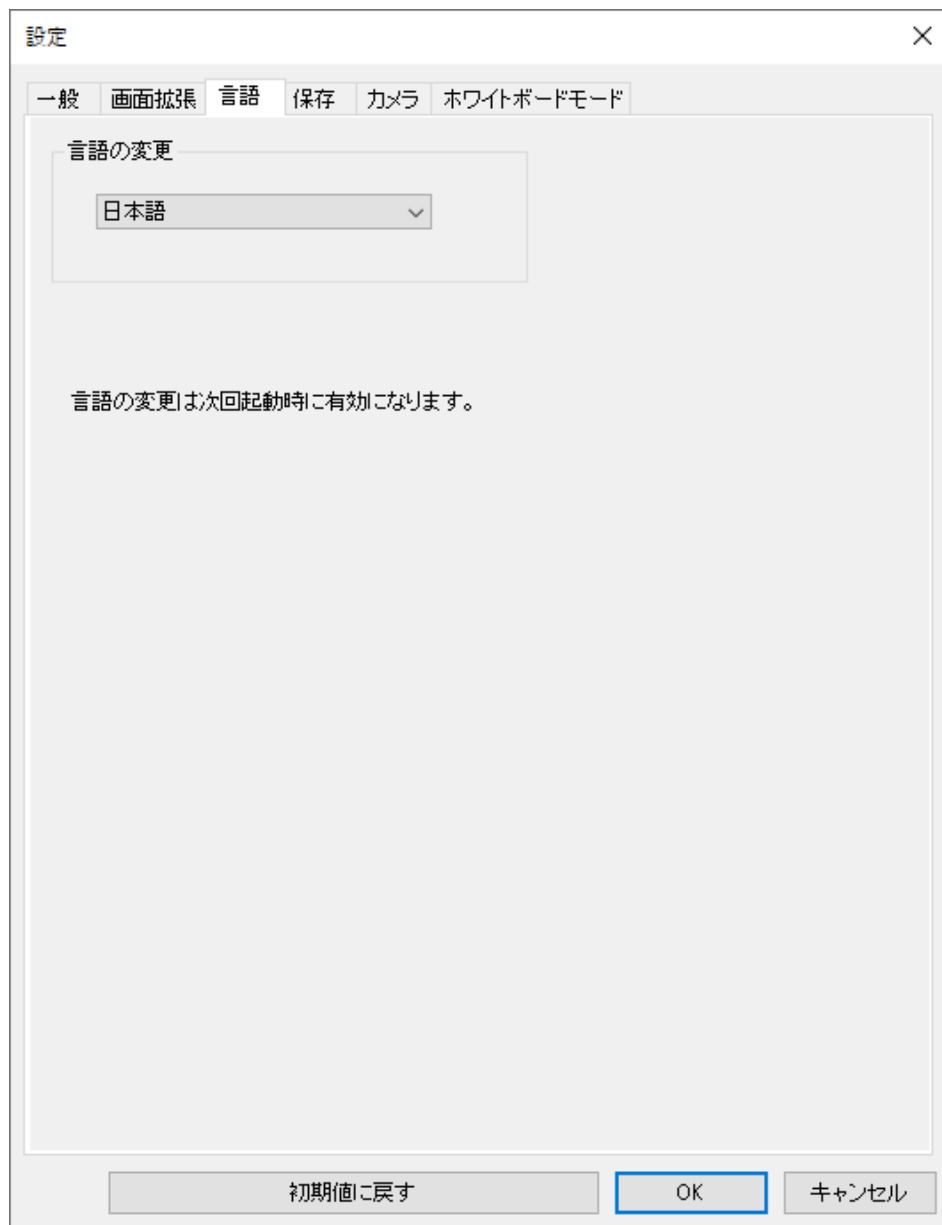


[使用画面設定] で以下のいずれかを選択します。

- [プライマリディスプレイ]: プライマリディスプレイにのみ描画します。
- [セカンダリディスプレイ]: セカンダリディスプレイにのみ描画します。
- [2画面で使用する]: プライマリディスプレイとセカンダリディスプレイの両方にまたがって描画します。

言語タブ (Windowsのみ)

[設定] 画面の [言語] タブで、Easy Interactive Toolsの表示言語を設定します。



保存タブ

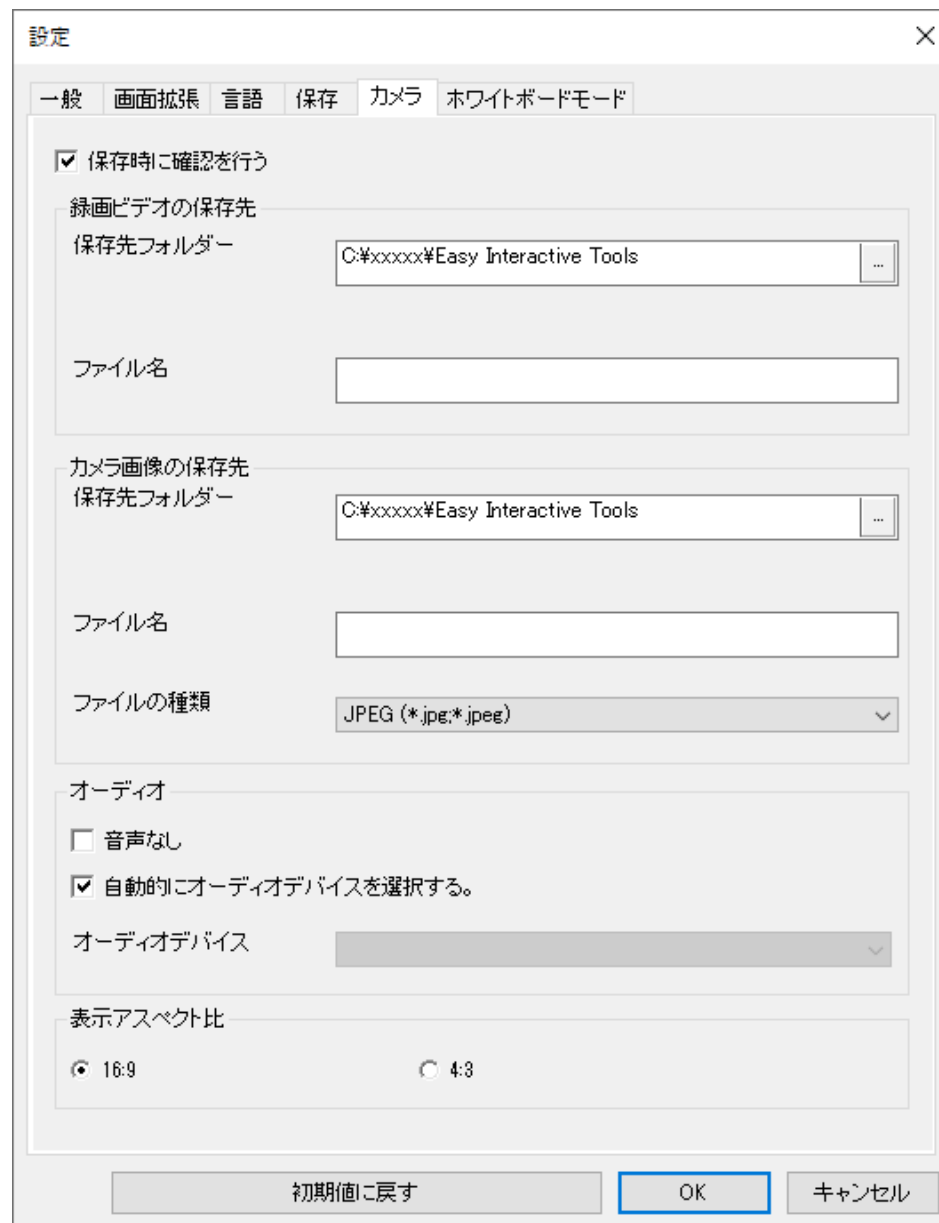
[設定] 画面の [保存] タブで、Easy Interactive Toolsでファイルを保存するときの設定をします。



設定	説明
保存時に確認を行う	チェックを入れると、画面の保存時に保存先/ファイル名/ファイルの種類を設定する画面を表示します。
保存先フォルダー	画面の保存先フォルダーを設定します。 フォルダーを指定しない場合は、以下の初期フォルダーが指定されます。 <ul style="list-style-type: none"> Windowsの場合： <起動ドライブ>:\users\<ユーザー名>\Documents\Easy Interactive Tools Macの場合： <起動ドライブ>:\Users\<ユーザー名>\Documents\Easy Interactive Tools
ファイル名	保存するファイル名を設定します。32文字まで入力できます。ファイルの保存時、ファイル名の末尾に数字が自動で追加されます。(例：AAA0001.jpg) \\:*?*<> は使用できません。
ファイルの種類	保存するファイルの種類を設定します。

カメラタブ

[設定] 画面の [カメラ] タブで、書画カメラからの映像の録画や保存の設定をします。



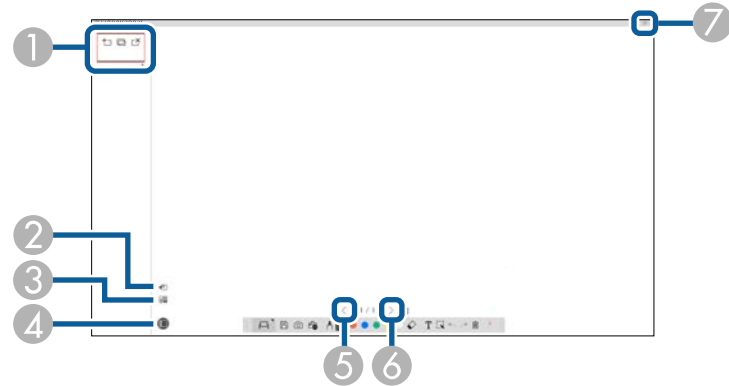
設定	説明
保存時に確認を行う	チェックを入れると、動画または画面の保存時に保存先/ファイル名を設定する画面を表示します。
保存先フォルダー	<p>動画または画面の保存先フォルダーを設定します。</p> <p>フォルダーを指定しない場合は、以下の初期フォルダーが指定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windowsの場合： <起動ドライブ>:\users\<ユーザー名>\Documents\Easy Interactive Tools • Macの場合： <起動ドライブ>:\Users\<ユーザー名>\Documents\Easy Interactive Tools
ファイル名	<p>保存するファイル名を設定します。32文字まで入力できます。ファイルの保存時、ファイル名の末尾に数字が自動で追加されます。(例：AAA0001.avi)</p> <p>\\:*?*"<> は使用できません。</p>
ファイルの種類	保存するファイルの種類を設定します。
音声なし	映像を録画するときに音声を録音したくない場合は、チェックを入れます。
自動的にオーディオデバイスを選択する	チェックを入れると、映像を録画するときに使用するオーディオデバイスを自動で選択します。
オーディオデバイス	映像を録画するときに使用するオーディオデバイスを選択します。(「自動的にオーディオデバイスを選択する」を選択しているときは選択できません。)
アスペクト比	カメラ画面のアスペクト比を選択します。

ホワイトボードモードタブ

〔設定〕画面の〔ホワイトボードモード〕タブで、ホワイトボードのページ一覧の表示位置を設定します。



ホワイトボードツールを使って、以下の操作ができます。



①	<ul style="list-style-type: none"> • ㊦ [新規ページ] 表示中のページの次に新しいページを追加します。 • ㊦ [ページ複製] 表示中のページをコピーして、表示中のページの次に追加します。 • ㊦ [ページ削除] 表示中のページを削除します。
②	<ul style="list-style-type: none"> • ㊦ [画像の挿入] .jpg、.bmp、.png形式の画像を表示中のページに読み込みます。
③	<ul style="list-style-type: none"> • ㊦ [背景選択] 以下のいずれかの背景画像を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 3色6種類のパターン • 現在のデスクトップの静止画 • 画像ファイル • 書画カメラの映像

④	<ul style="list-style-type: none"> • ㊦ [ページ一覧] ページ一覧を表示します。ボタンを再度押すと、ページ一覧を非表示にします。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> • < [前へ] 前のページを表示します。
⑥	<ul style="list-style-type: none"> • > [次へ] 次のページを表示します。
⑦	<ul style="list-style-type: none"> • ㊦ [ウィンドウ表示] 描画画面を全画面表示かウィンドウ表示に切り替えます。

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処法について説明します。

▶▶ 関連項目

- 「Easy Interactive Toolsに関するトラブル」 [p.49](#)

トラブルの状況に応じた解決策を確認してください。

トラブル	解決策
言語の変更後、文字化けする	お使いの環境にその言語のフォントがないと文字化けが発生します。[設定]画面の[初期値に戻す]で初期設定に戻してください。
2人でペンを使用しているとき、1人が操作できなくなる	以下の操作中は、電子ペンを操作できるのは1人です。 <ul style="list-style-type: none"> 設定画面、カメラ画面、画像の挿入画面、背景選択画面、ファイルを開く画面、ファイルの保存画面、エクスポート画面、印刷画面の操作 同一の図形や画像の調整、編集 テキスト入力 ホワイトボードモード時にウィンドウ表示しているときの操作 メニュー操作中
Keynoteに描画できない	MacではKeynoteに描画できません。
領域拡大で正しく表示できない	DVDプレーヤーの映像は、領域拡大で正しく表示できません。
Media Playerの映像の画面保存や印刷ができない	以下の制限があります。 <ul style="list-style-type: none"> Microsoft DirectXの機能を使っているアプリケーションの映像は、正しく画面を保存・印刷できないことがあります。 DVDプレーヤーの映像は、正しく画面を保存・印刷できません。

トラブル	解決策
.eit、.iwb、.ewf、.ewf2形式のファイルを開いたときに描画が正しく読み込めない	以下の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> 異なる解像度のコンピューターでファイルを開くと、一部の描画が表示されないことがあります。ファイルを作成したときと同じ解像度のコンピューターでファイルを開いてください。 使用されているオブジェクトの一部がEasy Interactive Toolsではサポートされていません。ファイルを作成したときと同じ環境でファイルを開くか、またはEasy Interactive Toolsで再度作成してください。 ファイルが壊れている可能性があります。再度作成してください。
録画した映像が正しく表示できない	書画カメラで録画した映像は、Windows Media Playerを使って再生してください。音声が聞こえない場合は、以下の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> お使いの書画カメラによって、音声が録音されないことがあります。 .mp3形式のファイルはサポートしていません。
2画面にまたがった描画が途切れる	Easy Interactive Driver Ver.4.0がインストールされていることを確認してください。(2台のプロジェクターの設置状況によっては、描画が途切れることがあります。)
Macのカメラ機能が使えない	Macで、[システム環境設定] > [セキュリティとプライバシー] > [プライバシー]の順に選択し、使おうとしているアプリへのアクセスをEasy Interactive Toolsが許可されていることを確認してください。
MacでPowerPointのスライドショー描画ツールを操作できない	

▶▶ 関連項目

- 「設定画面」 [p.38](#)

付録

Easy Interactive Toolsのアンインストール方法、制限事項などを説明します。

▶▶ 関連項目

- 「ソフトウェアを更新、またはアンインストールする」 [p.52](#)
- 「一般のご注意」 [p.53](#)

Easy Interactive Toolsの更新、またはアンインストールは次の方法で行えます。

▶ 関連項目

- 「ソフトウェアの最新バージョンを入手する」 [p.52](#)
- 「Easy Interactive Toolsをアンインストールする (Windows 10/Windows 11)」 [p.52](#)
- 「Easy Interactive Toolsをアンインストールする (Mac)」 [p.52](#)

ソフトウェアの最新バージョンを入手する

ソフトウェアの最新バージョンは、エプソンのホームページからダウンロードできます。

epson.jp/lcp/doc にアクセスしてください。

Easy Interactive Toolsをアンインストールする (Windows 10/Windows 11)

次の方法でEasy Interactive Toolsをアンインストールします。



ソフトウェアをアンインストールするには、管理者権限が必要です。

- 1 コンピューターの電源を入れます。
- 2 起動中のアプリケーションをすべて終了します。
- 3 キーボードで **⊞** キーを押して、すべてのアプリを表示します。

- 4 [Easy Interactive Tools Ver.X.XX] を右クリック (長押し) して、[アンインストール] を選択します。

- 5 画面の指示に従って、アンインストールを進めます。

Easy Interactive Toolsをアンインストールする (Mac)

次の方法でEasy Interactive Toolsをアンインストールします。

- 1 コンピューターの電源を入れます。
- 2 起動中のアプリケーションがないことを確認します。
- 3 [アプリケーション] フォルダを開きます。
- 4 [Easy Interactive Tools Ver. X.XX] - [Tools] フォルダを開き、[Easy Interactive Tools Uninstaller] をダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってアンインストールを進めます。

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- 「ご注意」 p.53
- 「表記について」 p.53
- 「商標について」 p.53
- 「Open Source Software License」 p.54
- 「著作権について」 p.54

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

表記について

- Microsoft® Windows® 10 operating system
- Microsoft® Windows® 11 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 10」、「Windows 11」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

- macOS 13 (Ventura)
- macOS 14 (Sonoma)
- macOS 15 (Sequoia)
- macOS 26 (Tahoe)

本書では、上記各オペレーティングシステムを総称する場合は「Mac」と表記します。

商標について

Keynote、Mac、OS X、macOSは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、DirectX、PowerPoint、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

Open Source Software License

zlib

This projector product includes the open source software program "zlib" which applies the terms and conditions provided by owner of the copyright to the "zlib".

The "zlib" are WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

List of zlib programs

- zlib-1.2.8

License terms of conditions of each program which are provided by owner of the copyright to the "zlib" are as follows.

Copyright notice:

(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly

jloup@gzip.org

Mark Adler

madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2024 Seiko Epson Corporation

2025.10 Ver.5.22 JA